

競技注意事項

1. 規則 2018年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項に準じて行う。
2. 変更・訂正 競技者の変更は一切認めない。プログラム誤記の訂正は8時15分までに記録係へ届け出る。
3. 練習
 - ・補助競技場を使用する。
 - ※補助競技場での投てき練習は禁止する。(ただし、メディシンボールを使つての練習は、係員の指示に従って行うことができる)
 - ・公式練習 走高跳はバーをかけずに1回の助走練習と、男子A 1m60・女子A 1m40の高さで1回の練習を認める。
 - 投てき種目については、審判の指示に従い、1回もしくは2回の練習を認める。
4. 招集
 - ・招集時間は トラック種目は競技開始30分前～20分前まで
フィールド種目は競技開始60分前～40分前まで
 - ・招集場所は、100mスタート地点側方のスタンド下に設ける。
 - ・競技者は招集時間内に招集をすませ、競技者係の指示に従う。招集に遅れた場合は棄権とみなし、競技に参加することはできない。
 - ・招集は本人が行う。この時ナンバーカードとスパイクの確認を行う。
 - トラック競技出場者は、招集時に腰ナンバーを受け取り、右腰につける。
 - ※記録会3000mに出場する競技者は、招集時に特別ナンバーカードを受け取り、胸背部につける。
 - ・スパイクのピンの長さは、走高跳・ジャベリックスロー12mm以下、その他は9mm以下とする。
5. ナンバーカード
 - ・胸と背に確実にとめる。ただし、跳躍種目は、背または胸につけるだけでもよい。
 - ・白のB5版の大きさの布に、男子は黒字、女子は赤字で記入する。文字の高さは12cm、文字の幅は5cm以上とし、飾り文字は使用しない。
 - ・トラック種目出場者は、招集所で受け取った腰ナンバーを右腰につける。
 - ・記録会3000mは、特別ナンバーカードを使用する。

6. 規格・重量

①ハードル種目の規格

	高さ	ハードル間
A男子	0.991m	9.14m
B男子	0.914m	9.14m
A女子	0.762m	8.50m
B女子	0.762m	8.00m

②砲丸の重量

A男子	5.000kg
B男子	4.000kg
A女子	4.000kg
B女子	2.721kg

③円盤の重量

ABC共通	男子	1.500kg
	女子	1.000kg

7. 計測

走幅跳	B男子	5m00	B女子	4m50
	C男子	4m50	C女子	4m00
砲丸投	A男子	11m00	A女子	8m00
	B男子	11m00	B女子	9m00
円盤投	男子	20m00	女子	15m00
ジャベリックスロー	男子	35m00	女子	25m00
走高跳	A男子	1m65-1m70-1m75-1m80-1m85 以降3cm		
	A女子	1m45-1m50-1m55-1m60 以降3cm		

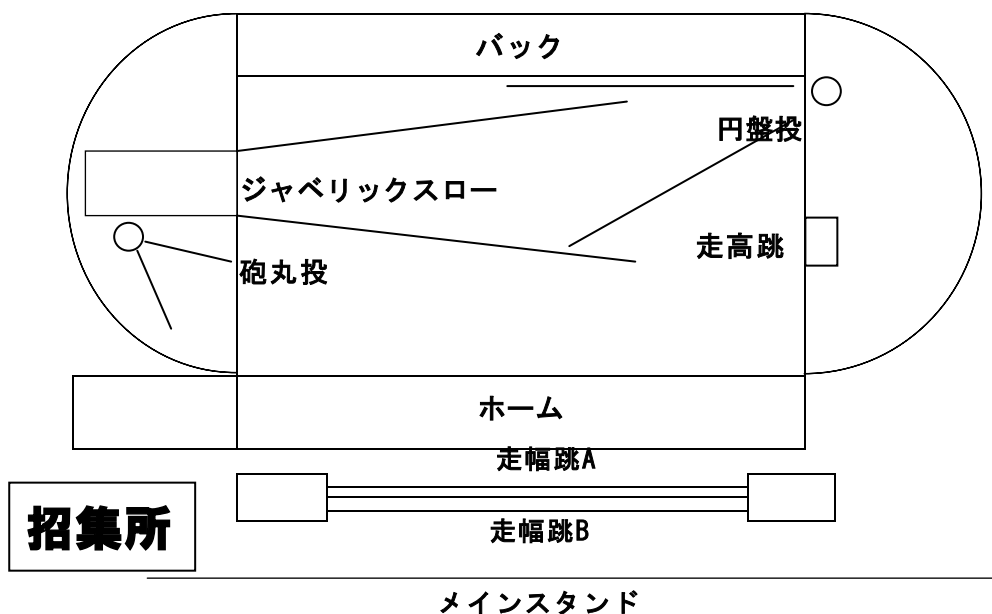
8. 決勝進出 走高跳以外のフィールド種目は3回の試技でトップ8を決定し、さらに3回の試技を行う。
トラック種目はすべてタイムレース決勝とする。

9. 終了タイム 男子C 1500m 5分30秒0 女子C 800m 3分00秒0
男子B 1500m 5分00秒0 女子B 1500m 5分30秒0
男子A 3000m 10分00秒0 女子A 3000m 11分00秒0

なお、記録会3000mは、男子11分00秒、女子12分00秒で終了する。

10. その他
- ・スタートについて
スタート合図は、イングリッシュコマンドで行い、不正スタート1回で失格とする。
 - ・スタート時にふらついたり、微動したりした場合には、警告扱いとしてイエローカードを提示する。同種目同ラウンドで2枚のイエローカードを受けた場合は、該当種目のみ失格とし、他の種目は除外しない。また、次ラウンドに警告は持ち越さない。
 - ・応援、付き添いはフィールド内や競技場内には入ってはならない。
(走幅跳ピット前の通路での応援も禁止)
 - ・スタート時の応援は禁止する。
 - ・応援席最前列の手すり付近での立っての応援は禁止する。
 - ・立ち入り禁止区域には入らない。(本部前通行等)
 - ・メインスタンドへの応援横幕・シート・テント・タープ・のぼり旗の設置を禁止する。
 - ・所持品は各自責任を持って管理すること。
 - ・ゴミは各自持ち帰ること。
 - ・中学生競技者としてのマナーを守ること。

※ 選考会終了後、出場確認と申し込みを行う。なお、出場権を得た選手の顧問は、必ず本大会の資格審査・プログラム編成会議(日産スタジアム 9/15、16)に出席する。



JO予選・長距離記録会 三ツ沢競技場使用上の注意・お願い

平成30年8月16日

会場担当 横浜地区

I 開門時刻・場所取りについて

1. 競技場開門予定時刻は7:30です。レストハウス前のゲートが開門。
2. 入場列整列待ち（前から横6列及び横4列で並ぶよう御協力ください）、場所取りについては顧問・生徒一緒がルール。
（顧問と生徒が一緒でないと入場待ち列には並べません。）
【場所取り確認事項】
 - ①開門時は役員の指示に従い整列順で入場し走ったりしないこと。（転倒防止）
整列入場の際、後から来た選手生徒は途中から列に加わらず、最後尾にまわり整列し順番に入場すること。
 - ②更衣室（レストハウス内）及びメインスタンドベンチ座席にシート・テントは設置できない。
 - ③テント（屋根）を使用する場合は風で飛ばされないようにする。（重りなどで固定する）ただし、通路をまたいで手すり等へのロープでの固定は転倒防止のため不可。
移動や撤収等が必要な場合、本部役員、会場地区担当の指示に従うこと。
 - ④メインスタンド最上部スペースでのテント、シート設置も可能とする。通路の確保、水場、非常口扉等の利用の妨げにならない範囲とする。
 - ⑤メインスタンド内（本部後方）の廊下及びレストハウス通路の場所取りは雨天時のみとし、出場選手のみ利用とする。（使用可能時はアナウンスをする。）
 - ⑥聖火台階段、第2コーナー付近階段はテント、シート設置禁止
 - ⑦公園内、競技場周辺は一般来園者の利用を最優先し、むやみにシートやテントを設置して通行の妨げやベンチ等を占有しての利用はしないこと。
 - ⑧競技場内の芝生席及びスタンド最上段以外は、野外活動施設前のキャンプファイヤー広場（石畳上など）にテントやシートの設置は禁止。
※園路に隣接する茂みなどにもシートは敷かない

※移動や撤収等が必要な場合、本部役員、会場地区担当の指示に従うこと。

3. 車両は駐車場を利用し、路上駐車等はしない。

II ウォーミングアップや練習について

1. 競技場内では運営、準備等が最優先です。トラック内芝生は一切立ち入り禁止。
2. 大会出場選手以外の選手、生徒の練習は一切認めない。（場内外問わず）
3. 朝のトラックでのウォーミングアップ開始はアナウンスで指示をする。それまでは準備が優先。
ストレッチ・ウォーク等の練習はトラック外で行うこと。本部役員や県専門委員を中心に監察するが審判のない顧問は事故や怪我がないように安全についての事前指導と練習に立ち会うようにすること。
以下、次の通り行う。

【ホームストレート側】

- ① 1～2レーン ジョッグ・長距離等周回を使う練習
- ② 3～4レーン 短距離練習 コーナーから直線を使う練習（4コーナー）
- ③ 5レーン 女子B100mH練習（5台） 直線を使う練習
- ④ 6レーン 女子A100mYH練習（5台） 直線を使う練習
- ⑤ 7レーン 男子B110mH練習（5台） 直線を使う練習
- ⑥ 8レーン 男子A110mJH練習（5台） 直線を使う練習

【バックストレート側】

- ① 1～2レーン ジョッグ・長距離等周回を使う練習
- ② 3～5レーン 短距離練習 コーナーから直線を使う練習（2～3コーナー）
- ③ 6～8レーン 短距離スタート練習 直線を使う練習

4. 競技会中のトラック開放はアナウンスで時間、場所を指定する。それ以外の練習については補助競技場（サブトラック）を使用する。
5. サブトラックでの練習は次の通りに行う。（7：45～練習場係が付いた後）
 - ① 1～4レーン 長距離等周回を使う練習（トラックは4レーンまでしかない）
 - ② 直走路5～8レーン 短距離走のみ（スタート練習は行わない）
 - ③ メディシングボールでのウォーミングアップは、サブトラック内の決められた場所のみ使用可とする。
 - ④ サブトラックでは、備え付けられた用器具以外の練習用具の持ち込みを禁止します。ただし、バトン、ピストルは除きます。また、ミニハードルやラダー、メディシングボールを使用した練習は指定場所で係員の指示に従って行うことができます。（なお、サブトラックでのジャベリックスローや円盤などの投擲練習もできません。本競技場での公式練習のみとなります。）
6. 開門以降、三ツ沢公園内及びその周辺での練習については一般来園者の利用を最優先とし一切禁止とする。（競技場内か補助競技場のみということ）
7. 駐車場や避難経路等での練習は一切禁止とする。
※ニッパツ球技場前でのアップもご遠慮ください。（朝も含めて）

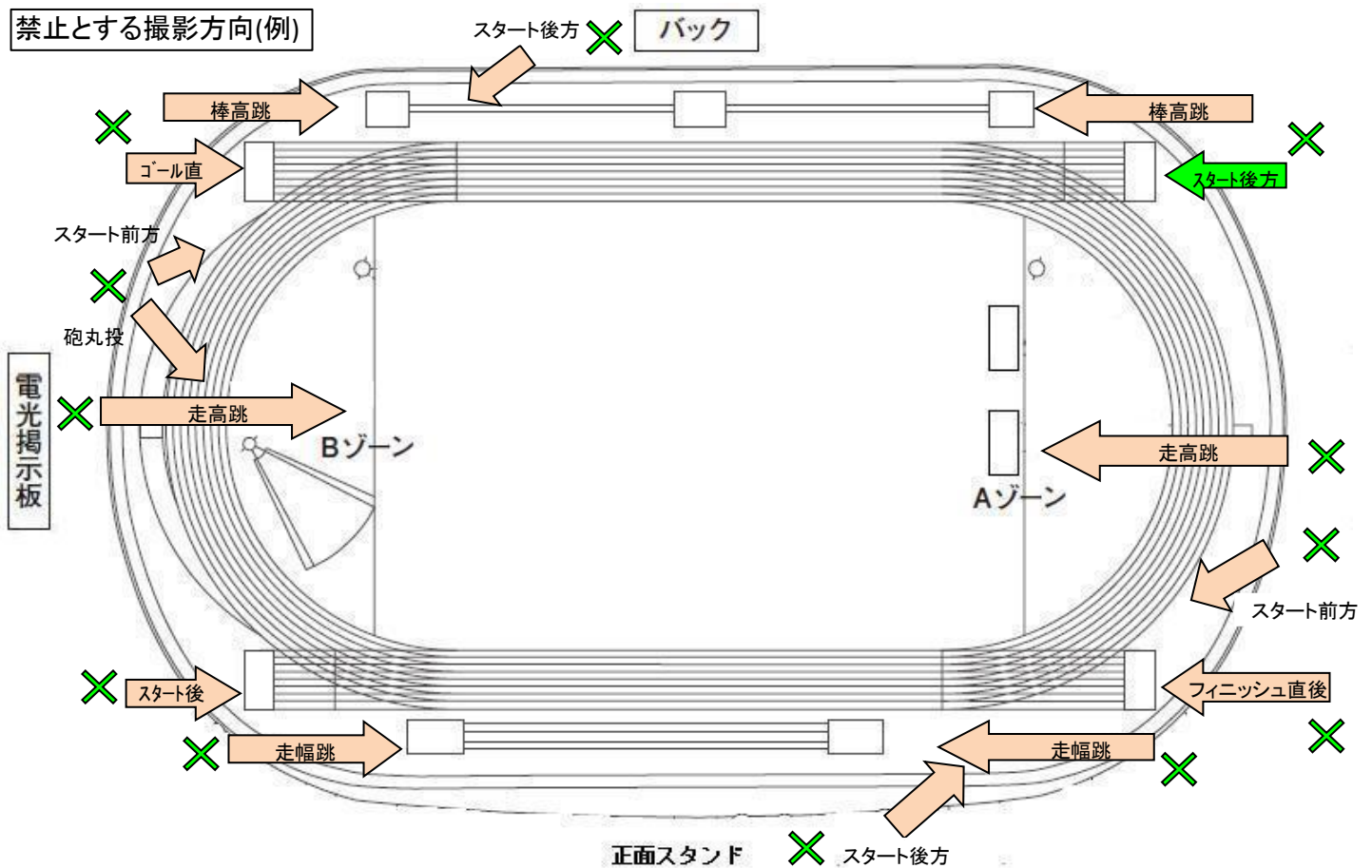
III 応援について

1. 原則としてスタンド、芝生席以外の応援は禁止。コーンで区切ってある場所はそこよりスタンド側を通路とし、通行の妨げにならないよう応援すること。
2. 応援についてはトラックのスタート時、各スタート付近（2次招集時含む）、フィールドの競技進行の妨げとならないよう注意すること。また、招集所付近での応援は禁止とする。
3. 付き添い生徒が競技場内（トラック・フィールド内や招集所、スタートやフィニッシュ地点）に入ることを禁ずる。
4. スタンド最前列で立ち上がっての応援はしないこと。

IV その他

1. ゴミは各校、各自で持ち帰ること。（近隣コンビニや施設のゴミ箱等に捨てない）
2. スパイクでスタンドやスタンド内通路に上がらないこと。
3. 本部前は選手、付添等、通行禁止です。
4. レストハウス前の遊具で遊ばない。（乳幼児向け施設です。）
5. トイレ・更衣室等、公共施設の使用については、ルール・マナーを厳守すること。
6. 運営に協力するとともに本部役員や県専門委員、会場担当地区の指示には従うこと。

～撮影に関するお願い(一般来場者・中学校関係者のみなさま)～



◆選手の肖像権・人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください。

1. 競技者に迷惑のかかる恐れのある撮影を禁止します。撮影はすべて、スタンド上から行ってください。
2. 参加競技者の関係者(保護者を含む)の撮影については、写真撮影受付をし、許可証を身につけて関係者であることを分かるようにして下さい。許可証を身につけていても、以下の撮影行為はご遠慮下さい。
 - ・競技者の同意を得ない関係者外の撮影
 - ・競技に集中できないと競技者から苦情が来るような撮影
 - ・体の一部を拡大しての撮影
3. 盗撮・透過撮影行為防止のため、競技者に迷惑のかかる恐れのある全ての方向からの撮影・行動を禁止します。上記の図は、禁止とする撮影方向の一例です。
 - ・トラック種目のスタート時・フィニッシュ直後…前方・後方からの撮影
 - ・走高跳、走幅跳、棒高跳の助走後方・着地前方(砂場正面)からの撮影
 - ・走高跳マットに向かった正面(クリアランス動作中)からの撮影
 - ・砲丸投…競技者正面からの撮影
4. 選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりしている間や、身体を動かしているなどの準備を行っている時の撮影を禁止します。
5. また他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。
6. 撮影の仕方が不自然な場合や、盗撮が疑われる場合には、競技役員が撮影内容の確認をさせていただきます場合があります。
7. 競技運営上、競技役員判断により、上記以外に撮影禁止エリアを設ける場合があります。
8. その他、上記の内容も含めて、競技運営上の都合により大会当日も含め変更する場合があります。その際は競技役員判断に従ってください。

ジュニアオリンピック選考会について

①標準記録を突破した選手のいる種目を「標準記録突破種目（突破）」と呼び、標準記録を突破した選手がおらず、選考会で1位になった選手を選考して参加資格を与える種目を「出場選手選考種目（選考）」と呼ぶこととします。

②標準記録突破種目については、選考会で1位になっても本大会に出場することはできません。新たに標準記録を突破しないと本大会には出場できません。

③今年度より申込区分に大きな変更があり、早生まれの選手の標準記録突破を正確に把握することが困難になっています。

すべての種目において、標準記録を突破し、ジュニアオリンピック本大会に出場のある選手につきましては、ジュニアオリンピック選考会当日（8/25）の9時までに強化委員長の林か副委員長の澤口まで、個人申込書と出場料3500円の提出をお願いします。また、そのときに申込書類に不備がないか確認しますので印鑑もお持ち下さい。

④出場選手選考種目については、各種目の1位の選手が選考され、本大会の出場権を得ることになります。

⑤ジュニアオリンピック選考会で本大会出場を決めた選手の顧問の先生は、競技終了後に強化委員会まで個人申込書の提出をお願いいたします。（個人申込書は強化委員会でも準備しておきます。）
また、そのときに出場料3500円と印鑑もお持ち下さい。

⑥例年、申込用紙の不備が多くみられます。加盟団体は「神奈川」、プログラム記載学校名は「〇〇中」、JAAF-ID（日本陸連登録番号）等、よく確認してから記入してください。

⑦8月25日（選考会当日）の16：30頃（ジャベリックスローが終了後）本部ダッグアウトで、本大会の説明会を行います。選考された選手の顧問の先生方は必ず出席してください。

標準記録を突破していて選考会に出場しない選手の顧問も、説明会には必ず出席をお願いします。

⑧2種目で本大会の参加資格を取得している選手（標準記録突破・選考会1位）につきましては、本大会はどちらの種目にエントリーするのかを、2種目目の競技終了後、ただちに強化委員会まで報告願います。

⑨2種目エントリー可能な種目（A 短距離ハードル種目・投てき種目）につきましては、1位ではなくても、上位の選手が選考されることもありますので、顧問の先生におかれましては、確認をお願いします。

⑩4×100mの代表につきましては、各カテゴリー（A・B・C）から2名ずつ選考します。（リレーのみの選考の場合もあります）出場料は県本部で負担します。

⑪選考会後に新規突破者が出た場合は、すぐに強化委員会（大綱中：林）まで連絡ください。9月3日（月）まで新規突破が認められます。（全中・公認の地区総体等含む）

⑫出場選手選考種目で選考会後に標準記録の新規突破者が出た場合、選考会で参加資格を取得した選手（1位になった選手）が標準記録を突破しない限り、本大会に出場することはできません。

⑬9/14～16 に日産スタジアムで資格審査・プログラム編成会が行われます。例年、本大会出場校の顧問の先生にご協力をお願いしています。今年度もよろしく願いいたします。

第 4 9 回ジュニアオリンピック陸上競技大会 個人 申 込 書

※印は主催者で記載する。男女別・申込区分、リレー参加の有無に○をつけること。区分は下記を参照のこと。

種 目	リレー参加の有無	※ ナンバーカード(未記入)
400m	有	

男	女	申込区分	A	B	C	ABC共通
			2003/1/1~2003/12/31	2004/1/1~2004/12/31	2005/1/1~2006/4/1	2003/1/1~2006/4/1
○		区分に○印	○			

フリガナ	ハヤシ ヒロユキ		生年月日	20 01 年 01 月 01 日		
氏 名	林 弘幸		(西暦) (yyyy)	20 01 年 01 月 01 日		
加盟団体名 (陸協名)	フリガナ	ヨコハマシリツオツナチュウガッコウ	学年	3		
	学校名又は 所属クラブ	横浜市立大綱中学校	JAAF-ID (日本陸連登録番号)	00092711020 (30878)		
プログラム記載学 校名又は 所属クラブ名	全角7文字以内、 半角14文字以内	大綱中 オ オ ツ ナ チ ュ ウ	※必ず記載のこと。 学校名は○○中・○○中等・ ○○高で記入する。			
自宅住所	(〒 222 - 0037)	電 話		045 (542)	4423	
電 話	横浜市港北区大綱183		F A X	()		
学校又は 所属クラブ 住所電話	(〒 222 - 0037)	電 話		045 (542)	4422	
住所電話	横浜市港北区大倉山3-40-1		F A X	045 (541)	3440	
指導者 又は 保護者名	村上 孝文		携帯電話	090 (1234) 5678		

JAAF-IDは「閲覧→生徒情報確認・変更」
から確認することができます

参加資格記録

参加資格記録	大会名	期 日/場 所	記 録 / 風	ハードルの高さ/ハードル間	重 さ
参加資格記録 (中学規格) (円盤投・ジャベ) (公認記録)	第64回全日本中学校 通信陸上競技 神奈川県大会	2018 年 7 月 22 日	記録 48.17	高さ m	kg
		場 所 ShonanBMWスタジアム平塚	風 + -	ハードル間 m	
ジュニアオリンピック 実施規格 (4種目のみ) (公認記録)	下記種目のみ記入してください				
	①A男子110mH(0.991m/9.14m) ②A女子100mH(0.762m/8.50m) ③A女子砲丸投(4.000kg) ④B男子砲丸投(4.000kg)				

※上記、参加資格記録には2018年4月1日~9月3日のベスト記録を記載してください。
※規格が異なる記録しか記入されていない場合は、「記録なし」扱いでプロ編成を行います。
※ジュニアオリンピック実施規格はA男子110mH、A女子100mH、A女子砲丸投、B男子砲丸投の選手のみ入力してください。

引率者	村上 孝文
-----	-------

(注) 区分は次のとおりとする。

- A(高校1年)・・・ 2003(平成15)年1月1日生~2003(平成15)年4月1日生)
- A(中学3年)・・・ 2003(平成15)年4月2日生~2003(平成15)年12月31日生)
- B(中学3年)・・・ 2004(平成16)年1月1日生~2004(平成16)年4月1日生)
- B(中学2年)・・・ 2004(平成16)年4月2日生~2004(平成16)年12月31日生)
- C(中学2年)・・・ 2005(平成17)年1月1日生~2005(平成17)年4月1日生)
- C(中学1年)・・・ 2005(平成17)年4月2日生~2006(平成18)年4月1日生) ※中学1年生の早生まれ含む

☆学年と生まれ年が相違している場合は生まれ年に該当する区分にエントリーすること。

※1: プログラム記載の学校名又は所属クラブ名は、全角7文字(半角7文字)以内に省略した名称を記載し、学校名○○中学校は○○○中・中等学校は○○中等・高等学校は○○高と記載すること。

※2: 指導者又は保護者の電話番号は、資格審査の期間中(2018/9/14~9/16)必ず連絡ができる番号を記載のこと。

※3: 風、ハードルの高さ/ハードル間距離も必ず記入すること。未記入の場合は問い合わせてください。

注意: 標準記録のある種目で2名以上申込みがある場合、記載記録が「風、高さ、重さ」等で非公認となった時は参加資格を失うので注意のこと。

※4: 「規格が異なる記録しか記入されていない」場合は、「記録なし」扱いでプロ編成を行う。

※5: JAAF-IDが不明な場合は<https://api.start.jaaf.or.jp/search> で検索して入力してください。

☆ 主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取扱います。尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営等本大会に必要な連絡等に利用します。